

7. N-Isopropyl-¹²³I]p-Iodoamphetamine
による局所脳血流量の測定

土屋 俊明・伊藤 寿介 (新潟大学歯学部
歯科放射線科)
小田野幾雄・酒井 邦夫 (新潟大学
放射線科)

SPECT による CBF イメージング用薬剤として開発された N-Isopropyl-p-[¹²³I]-Iodoamphetamine を用いた rCBF 定量測定を試みたので報告した。

Kuhl 等の方法に順じて、対向 2 門回転型ガンマカメラを使用し、成人男性ボランティア 4 名 (23~27 才) に対し測定を行った。

mean CBF は 49.5±4.7ml/100g brain/min となり、rCBF は cbl. cortex 47.0±5.2, frontal cortex 54.0±3.7, temporal cortex 51.7±3.6, visual cortex 49.4±2.5, parietal cortex 44.8±2.1 であり、frontal dominant の傾向を示した。

8. 非機能性副腎腫瘍の画像診断

酒井 達也・木村 元政 (新潟大学)
椎名 真・原 敬治 (新潟大学放射線科)
酒井 邦夫
秋田 眞一 (厚生連中央総合
病院放射線科)

内分泌活性を呈さぬ副腎後腹膜部の腫瘍性病変の画像診断は、CT、超音波の進歩普及した今日尚困難である。病理学的結論の得られた 5 例について検討を加えた。(1) 24 才男性、後腹膜神経節性神経腫 (2) 56 才女性、右副腎リンパ管腫 (3) 51 才女性、左副腎骨髄脂肪腫 (4) 66 才男性、左傍副腎神経節腫 (5) 27 才女性、右腎細胞癌。いずれも原発巣をめぐり腎、副腎、後腹膜の局在診断が困難であった。CT 画像で腫瘍と隣接した臓器の変形所見は診断根拠となり得ず、又、血管造影で同定された腫瘍の主要養動脈が原発臓器の固有動脈であるとは限らなかった。しかし腎上極部腫瘍と副腎腫瘍との鑑別に、腎動脈分枝の分布の有無や ¹³¹I アドステロールシンチグラムの解析が役立つ症例がある事が示唆された。

9. 結果的に膀胱炎であった膀胱腫瘍性病変

石川 忍・佐藤 俊郎 (長岡赤十字病院)
遠藤 次彦・川村 正 (内科)

膀胱癌を否定しきれず手術を施行し、結果的に膀胱炎であった 4 例と、膀胱癌切除例 5 例の画像診断上の問題点について検討した。その結果、ERCP の所見を詳細に検討することで膀胱癌と膀胱炎の鑑別は多くの例で可能であ

た。US では境界明瞭な低エコー腫瘍と尾側尿管の拡張を認めれば膀胱癌の可能性が高いが明瞭な腫瘍像が得られない場合は鑑別がむずかかった。ルーチンの enhanced CT では腫瘍が小さい場合は癌でもはっきりした低濃度腫瘍を示さず膀胱炎との鑑別はむずかかった。腹腔動脈及び上腸間膜動脈造影によるルーチンの血管造影では膀胱内動脈を明瞭に造影することができず小膀胱癌と膀胱炎の鑑別はむずかかった。以上の画像診断によっても鑑別困難な例があり、それらは臨床経過を加味して経過観察するか、あるいは手術もやむを得ないと思われた。

10. 胆石溶解療法の適応決定における CT の有用性について

大貫 啓三・尾崎 俊彦 (新潟大学)
島山 重秋・市田 文弘 (第 3 内科)
長谷川 滋・川口 英弘 (同 第 1 外科)
吉田 奎介
椎名 真・原 敬治 (同 放射線科)
新妻 伸二 (新潟県立ガンセ
ンター放射線科)

胆石溶解療法の適応決定における CT の有用性について検討し、以下の結論を得た。

1. 実験および臨床成績より、通常の X 線撮影法で胆石の石灰化が不明な場合でも、胆石のカルシウム含有量が 1% 以上存在すれば、CT で胆石の石灰化を検出できた。
2. 胆石溶解療法が有効な症例では、全例 CT でも石灰化を検出できず、また CT で石灰化が検出された症例では、全例胆石溶解療法が無効であった。
3. CT で石灰化のみられる胆石は、通常の X 線撮影法で X 線透過性胆石であっても、胆石溶解療法の適応から除外できる。
4. CT を適応決定に応用することで、従来の適応基準により症例を選択した場合より、胆石溶解療法の有効率を 2 倍に高めることができた。

11. 超音波検査法による肝癌検診

尾崎 俊彦・広瀬 慎一
大野 隆史・原 秀範 (新潟大学)
西川 温博・岸 裕 (第 3 内科)
青柳 豊・吉川 明
上村 朝輝・市田 文弘

(目的) B 型肝炎ウイルスの疫学調査を継続している地区での肝癌検診の 6 年間の結果を集計すると共に検診の問題点について検討した。

(方法) HBs 抗原保有率が約 9% と高率である佐渡郡 I 地区の住民を対象に HBs 抗原・抗体、AFP、肝機能